

会 議 概 要 書

審議会等の名称	第2回 ながふじ学府一体校建設検討会
担当部課名	教育部教育総務課学府一体校推進室
会議の開催日時	平成29年10月18日(水) 18:00~20:00
会議の開催場所	豊田福祉センター3F大会議室
出席者(職・氏名)	委員:17名 事務局等:12名(内設計者4名)
議 題	(1) 議事録の確認 (2) ワークショップ・教員ヒアリングの内容について (3) 第2回建設検討会提出案について (4) 質疑・意見交換
配付資料等の件名	・次第 ・ワークショップ教員・ヒアリングの主な意見 ・第2回建設検討会提出案

【会議概要】

1. 開会

2. 教育長あいさつ

- ・先日、豊田中学校および豊田東小学校に教育委員会が訪問したところ、子供たちが先生方の優しさのもと、活発に活動している姿を見ることができた。また、豊田中学校に関して、色々な教育活動を展開していることは非常に良いことであると感じた。
- ・市ではコミュニティスクールの設置を32校全校で行っている。地域が活動に参画することで気軽に地域の方々が入れる学校になってきたが、それはCSと地域とが連携しながら進めてきたことによるものである。
- ・最近の学校は敷地周囲のフェンスを高くする等セキュリティが高い。安全は第一であるが、学校そのものを地域に開くことこそが防犯対策となる等、新たな学校の在り方を考えたい。磐田市ではそれが可能だと考えている。

3. 議事録の確認

- ・事前配布済の議事録について修正はあるか。(会長)
- 特になし。(一同)
- 発言者は伏せ、「委員名」を「委員」として教育委員会ホームページに掲載することについて、ご了承いただきたい。(会長)

4. 経過説明

- ・配布したワークショップ・教員ヒアリング資料を基に内容を説明。(事務局)

- ・これらを受け、グラウンドを一体として整備すること、より地域に開かれた図書館とするため1階に図書館を配置すること、名称はながふじ図書館とすること、駐車場の確保については、グラウンドの周囲に散策路兼臨時駐車スペースを確保すること、以上を市の方針として定め、計画案の作成を進めた。(事務局)

5. 第2回建設検討会提出案について

- ・配布した資料を基に計画案の説明。(設計者)
- ・教育委員会の方針のもと、一体的に様々な利用ができるよう敷地北側にグラウンドを集約、図書館は1階に配置するとともに地域開放エリアを校舎の西側にまとめることにより、前回案と比べ明快なゾーニングとした。さらにプールについては、体育館南側に配置することで日当たりを良くし、水温があがるよう考慮。また、職員室などの事務諸室は1階に集約した案としている。なお、グラウンド内のレイアウトは今後の検討項目とし、配布資料にはグラウンド広さの参考のために200mトラックを記入している。(設計者)

6. 質疑

- ・前回案との違いについて専門家の意見を伺いたい。(委員)
 - グラウンドは、一体的に使いたいという要望からきたと思うが、サブグラウンドを校舎の北側にすることで日当たりが悪くなることは考えられる。一体として考えるのかサブグラウンドとして考えるかは検討しないといけない。サブグラウンドとして考える場合、野球やサッカー等のボールに対する配慮としては、例えば植樹をすとかネットを置くとかが考えられる。以前私がかかわった学校では最終的には一体のグラウンドとなった。一体とすることで子どもたちが一緒に使えるというメリットがある一方、分けにくいという問題は出てくる。それをどのように運用していくかは課題にはなってくる。サブグラウンドが南の場合は芝生や木があり日当たりのよい居場所的なイメージで見ていたのが、北側の場合、南側にある時とは意味合いが変わってくるので、どのように使っていくか議論が必要。遊具広場として考えると、北側の場合日影で遊びにくいということも考えられるのでほかの場所にするなどの検討が必要。なお、屋外プールは日当り、コース数の確保が出来ているため、解決策としては良い。屋内運動場は採光を考えた場合、通常は南北に配置することが多い。採光の仕方を工夫して、競技に影響がないようにした方がいい。1階に屋内運動場を配置する意見があったが、その分グラウンドの面積が減少するため、敷地を有効に活用する観点から2階とすることで良いのではないかと。ただし2階の場合は、バリアフリーに考慮するとともに地域開放時のセキュリティ区画が必要。図

書館は、学校の安全を確保しながら、どのように地域に開放するかがテーマになってくる。(委員)

- ・サブグラウンドを東南面に計画する案はどうか。メインとサブの仕切りもしやすく、野球やサッカーのボールもガード出来るのではないか。(委員)
 - グラウンドの在り方として、一体で利用することに重心をおくか、それ以外にも広場のような居場所をつくるのであれば東南もあり得る。いずれにしても遊具設置は必要。(委員)
- ・プールは子どもの体格差を考慮して水深を決めて欲しい。(委員)
 - 水深を変更することも技術的には可能のため、検討する。(事務局)
 - 25mプールを中・高学年用とし、小プールを低学年用とするやり方もある。可動床にすることも考えられるがイニシャルコストが高くなる。(委員)
 - 同じエリアで段差をつけるのは心配。プールの配置案は前回案より良くなっている。(委員)
- ・グラウンドについて、中学生のサッカーや野球は、豊田北部小の跡地を使うことにできないか。(委員)
 - 今回の案は、現在使用しているグラウンドよりも広がっている。(委員)
 - グラウンドが広がることはいいことだと思う。体育の時間の場合は、管理されているので大丈夫である。職員の研修等があって子どもたちが早く帰ると、学校に遊びに来ている子どもたちがいる。中学生が部活をやっている中、その安全性がどうなるかということがイメージできなくて不安には思う。ルールが決まっていけばその辺りはクリアできるとも思う。(委員)
 - イメージの問題だが、グラウンドを一体にすることで普通のグラウンドになったという感じがする。サブグラウンドがくつつくことによって活用方法の可能性が広がった。使い勝手はよくなっている。(委員)
 - 完全に一体にするのか、その仕様を変えていくのか等、サブグラウンドをどう位置付けるかが重要。使う側がどうイメージするかで変わってくる。必ずしもメインが中学生でサブが小学生というわけではなく、例えば交流する時にはサブで、競技したり運動したりする時にはメインでというように使い分けるといった考え方もある。(委員)
- ・南側の日当たりが一番良い場所に駐車場があるのは、もったいないと思うが、プールの下に部屋をもってくることは難しいので、駐車場しかないのではないかと思う。(委員)
 - プールは使用時期が短いため、南面に配置すべきとはいえ、プールの長手方向を南側に全面確保するのは、もったいないという面は確かにある。(委員)

- プールについては、体育担当が毎日水温と塩素濃度等を計っている。水温が低いときにはやらないという判断もしているので日当たりのよい場所の方がいい。(委員)
- ・体育館を2階に配置することに関しては良いか。(委員)
 - 避難時のために1階という意見もあるが、日常時の利便性を重視すべきであり、それを踏まえると2階で良い。(委員)
 - 防災については、危機管理課とどの部屋を避難所とするか今後設定する。現状、体育館に加え、1階ランチルーム、武道場も避難所として使うことで課と協議を進めている。(事務局)
- ・図書館や職員室の配置についてはどうか。(委員)
 - 事務室はどこにあるのか。地域開放エリアに入る際、事務室が窓口としてあるべき。地域連携室には常駐者がいるのか。(委員)
 - 職員室等の管理諸室の中に予定しているが、室配置は今後計画を進めていく。(事務局)
 - 地域に開放された図書館になるためには、図書館内にも事務室や司書室があり、図書の管理を学校以外の職員がしないと成り立たない。学校とのセキュリティエリアは前回より明快になったが、子供たちが行きやすい仕組みも必要である。(委員)
 - 図書館の運用については検討中。開校時に土日まで開放するというのは難しいと思うが、将来そうなっていけるようにつくっていききたい。(事務局)
 - 豊田図書館が子ども図書館になり、若年層でない者にとっては行きにくくなる。今回つくる図書館が地域のコミュニケーションの場として、気楽に出入りできると良い。なお、ソフトは中央図書館などと一貫して考えているのか。(委員)
 - システムや蔵書数は図書館長と検討を進めている。(事務局)
 - 今のシステムは一時的のものか。(委員)
 - 予約本の受取を交流センター等でやっているが、豊田図書館が閉館中のため試験的に行っている。今後の利用状況等をみて決めていききたい。(委員)
- ・図書館が1階にあるが、2~4階はどのように考えているか。各階に自習学習室や学年にあった教材を置く等をしないと1階に利用が集中するのではないか。(委員)
 - 骨格となる配置を定めた上で、他階についても考えていきたい。(事務局)
 - 調べ学習など、本来は普通教室からのアクセス性を踏まえ、普通教室階の中間階に図書館を配置することが多いが、今回はプログラムがそれと異なるため、名称とともに一階に下げた。地域に開放することも大事だけれど、学校の図書館の機能も重要だということになれば各階に図書エリアをつくる等の計画が必要ではないか。授業と関連する図書を入れ替えながら、各階にサブ図書コーナーをつくれると良い。廊下幅を広くとってあるため、図書コーナーをつくることも可能ではないか。(委員)

員)

➤調べ学習エリアを各階につくることは可能か。(委員)

➤調べ学習は授業で利用することから、1階図書室内に調べ学習エリアをつくることとし、授業で利用していない時には地域の方々が利用できる等、柔軟な設えとして考えている。また、各階にサブ図書コーナーをつくることも可能である。(設計者)

・地域の方に、この図書館の利用のイメージについてお伺いしたい。

➤地域とのコミュニケーションの場として開かれた図書館となると良い。小学校で「ようこそ先輩」という活動を行っているが、そういうときの資料を探す場として活用するのもよいのではないか。(委員)

➤地域の人が本を借りるためだけにこの図書館に来るというよりは、イベントやボランティア等、図書館を通じて学校とつながるような仕掛けがあると良いのではないか。(委員)

➤地域の図書館としての機能も入れていくのなら、それにかかわる人材配置を考えていくことが必要。(委員)

➤教育長から地域とのつながりを重視するという話をしてもらったので、ぜひ地域の人たちも活用できるような方向でお願いしたい。(委員)

➤どう地域の方々と交流をしていくかについてだが、休み時間に互いに話せる場となる等、自然な交流が出来ると良い。(委員)

・ランチルームも地域開放を想定しているが、意見等はないか。(委員)

➤児童クラブも地域開放エリアにあるが、実際は放課後の利用のため別に出入口を設け、独立した設えとなることが考えられる。ランチルームは多目的な使い方が可能であり、どのようなことをしたいか意見があると良い。(委員)

・地域連携ホールや図書館の開放時間は決まっているのか。(委員)

➤管理時間、管理する人材についても検討中である。(事務局)

➤ランチルームと武道場がつながると集会などが行いやすい。(委員)

➤ランチルームは200人程度とし、2学年が一度に利用できるよう想定しているが、要望があれば教えて欲しい。(事務局)

➤武道場は現状、体育の授業では剣道、部活で卓球利用をしている。(委員)

・東小児童のために、1階に東小専用の室があると愛着がわくので、つくれないか。(委員)

➤ランチルームや2階多目的室を東小児童との交流の場として考えている。(事務局)

・1階の倉庫はどのような利用想定か。指定救護所として防災倉庫が必要ではないか。(委員)

➤危機管理課と協議をしているところである。既存防災倉庫の移設も踏まえ、計画を

詰めていきたい。(事務局)

➤防災倉庫は水害時を考慮し、高い階においてはどうか。(委員)

・書物はどのようなものを置くのかを考えていけない。地域開放エリアにリラックスできる場所ができると良い。(委員)

➤ランチルームでお茶を提供したり、ゆったりとした家具を置くなどやり方は考えられる。(委員)

➤ランチルーム、武道場、児童クラブの大きさはどの程度か。(委員)

➤配布した資料はあくまでゾーニングおよび大きなレイアウトのため、今後計画を進めていく。(事務局)

・共同調理場からの配膳はどのように考えているか。(委員)

➤バリアフリーも兼ねたエレベーターを1基計画しており、それを利用して各階配膳室から各教室の流れで考えている。(設計者)

➤現計画の場合、配膳の時間になると1階地域連携ホールにワゴンが並ぶことになり、衛生面についても懸念される。(委員)

➤共同調理場から直接上階にあがれるとより良い。(委員)

➤その場合ダムウォーターを別でつくることになり、他の動線との兼ね合いもあるため検討が必要。(委員)

・各階に教師コーナーがあると良い。(委員)

➤教師コーナーの設置は条件として事務局から出ていないが、子供たちのそばに先生がいることは良いことではある。その一方、教師コーナーをつくと教員同士の交流が減る場合もあり、それも含めて検討が必要。(設計者)

➤教師コーナーの設置については自治体によって考え方が違う。設置するのであれば、機能を持たせないと無駄なスペースをつくることになる。(委員)

➤教師コーナーの必要性については、教員側でも考えていきたい。(委員)

・防災倉庫についてだが、エレベーターの近くにおくということも考えられる。(委員)

・(仮称)子ども図書館については先ほど「行きにくい」との意見を頂いたが、今後名称を変更したり、利用ターゲットをより幅広くしたりしていくよう考えていく。(委員)

・まとめると、体育館、プールの配置については今回の案でいく。グラウンドについては、多少違った意見もある中でもう少し検討していただく。図書館と職員室の配置については、この案でいく。図書館の機能や運営については並行して考え、設計に反映させていくということで良いか。(委員)

➤委員より異論なし。

7. 教育長あいさつ

- ・子ども達、教員、地域の方々が活発に活動できる学校をつくっていきたい。

8. 閉会